

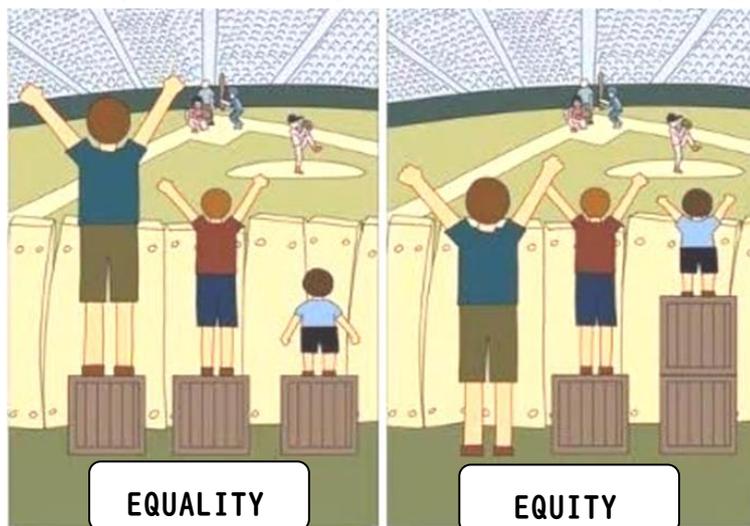


## 「平等」と「公平」

校長 佐久間 郁子

今年度は、山田小学校の教育ビジョンに「どの子ども学びやすく安心して生活できる環境整備」を掲げています。「どの子ども学びやすく安心して生活できる環境整備」とは、合理的配慮の提供を指しています。合理的配慮の提供とは、いったいどのようなものでしょうか。それがよく分かる絵があります。

平等 (=EQUALITY) と、公平 (=EQUITY) の違いを絵に表したものです。3人の子ども



たちが野球の試合を見ています。しかし、外野のフェンスが高くて背の低い子どもは試合を見る事ができません。「平等」の考え方でいえば、3つある踏み台を3人に1つずつ使わせることが「平等」といえます。しかし、一番背の低い子どもはまだ試合を見る事ができません。右側の絵は「公平」の考え方です。「公平」

の考え方では、一番背の高い子どもには踏み台を使わず、一番背の低い子どもには2つの踏み台を使わせます。これで3人とも同じように野球の試合を見る事ができました。

学校では、一人一人の児童に対して「公平」の考え方をしようとする事が合理的配慮です。例えば、視力の関係で児童の座席を前方にすることです。ここで大切なのは、合理的配慮はあくまでも児童本人や保護者のニーズに基づいて、学校が負担過多とならない時に限り行うことができるということです。

前期学校評価児童アンケートの「一日の流れが分かり、安心して学習することができる」という項目においては、91%の児童が肯定的評価をしていました。もし、お子さんのことで相談したいことがございましたら、連絡帳等で担任までお知らせください。一緒に対応を考えたり、必要に応じて個別に懇談し、合意形成を図ったりしていきたいと思っております。